■伊藤整　　〈チャタレイ裁判〉や「女性に関する十二章」で話題を提供しながら，「日本文壇史」の偉業を遺した。
いとうせい(ひとし)
日露戦争終・1905＝　　北海道の松前郡に生れた。父は広島県からきて代用教員をしている時，この地の漁師の娘と結婚，日露戦争に出征して戦功をあげ，陸軍少尉で退役した。

一家は旭川，余市を経て，忍路郡塩谷村に移り，父は村役場につとめた。

大逆事件判決1911＝ 6歳：尋常小学校に入学。
明治天皇没・1912＝ 7歳：

第一次大戦始1914**＝ 9歳：**

ロシア革命・1917＝12歳：道庁立小樽小学校に進学，**_詩歌の世界に目覚め，**

原敬首相暗殺1921＝16歳：
水平社結成・1922＝17歳：小樽高等商業学校に入学。一級上に小林多喜二がいた。**_校友会誌に詩を発表。**
関東大震災・1923**＝18歳：**｛文芸通報｝｛詩と人生｝｛青空｝などに参加。
護憲三派圧勝1924＝19歳：根上シゲルと恋愛。
治安維持法・1925＝20歳：小樽高商を卒業，小樽市中学校教諭になる。
円本時代始・1926＝21歳：東京商科大学受験に失敗。｛椎の木｝に参加。**＊処女詩集「雪明かりの路」を刊行して，**
金融恐慌・・1927＝22歳：東京商大に合格。**_激賞され，**
共産党事件・1928＝23歳：高山タミ，小川貞子との文通始まる。父が死去。同人詩誌｛信天翁｝創刊。第二｛椎の木｝発刊。
世界恐慌・・1929＝24歳：小説，評論に転向，批評誌「文芸レビュー」創刊。高山タミとは絶縁。川崎愛との交際始まる。
海軍軍縮条約1930＝25歳：小川貞子と結婚。｛文芸レビュー｝に，**＊S.フロイトの精神分析を文学にとり入れた「感情細胞の断面」を発表して，川端康成に賞賛されるなど，若くして，高い評価を得たのちも，，**
満州事変・・1931＝26歳：東京商大を中退。長男誕生。｛新文学研究｝を創刊。**_J.ジョイスの「ユリシイズ」前編を共訳刊行，西欧20世紀文学の方法を紹介し移入。**
五一五事件・1932**＝27歳：_最初の評論集「新心理主義文学」，最初の小説集「生物祭」を刊行。**
国際連盟脱退1933＝28歳：小説集「イカルス失墜」，
帝人疑獄事件1934＝29歳：**_「ユリシイズ」後編を刊行するが，風紀紊乱の廉で発禁になる。**
芥川直木賞始1935＝30歳：**_｛新潮｝に発表した小説「馬喰の果」が好評。「チャタレイ夫人の恋人」削除版を翻訳刊行。**
二二六事件・1936＝31歳：川崎愛死去。高山タミも死去するが，過去をめぐって，一文学青年から告発を受けた。
日中戦争始・1937＝32歳：評論集「小説の運命」，第２詩集「冬夜」，小説集「馬喰の果」「石狩」を刊行。**_｛中央公論｝に発表した「幽鬼の街」をめぐって宮本百合子と紙上論争など，挑戦し続けて，独自の方向に進み，**
健保+総動員 1938＝33歳：評論集「芸術の思想」，最初の長編「青春」，小説集「石を投げる女」，
第二次大戦始1939＝34歳：派遣ペン部隊の一員として，満州・北支を旅行。評論集「現代の文学」「私の小説研究」，長編「街と村」，随筆集「四季」，
大政翼賛会・1940＝35歳：小説集「吉祥天女」と「祝福」，長編「霧氷」と「典子の生き方」，
日米開戦・・1941**＝36歳：**評論集「文学と生活」，長編「得能五郎の生活と意見」，旅行記「満州の朝」。終戦まで克明な日記。
・・・・・・1942＝37歳：小説集「故郷」と「父の記憶」，評論集「小説の世界」，長編「得能物語」，
創価学会検挙1943＝38歳：長編「童子の像」，少年小説「雪国の太郎」，
年金+総武装 1944＝39歳：少女小説「三人の少女」，評論集「戦争の文学」と，**_次々発表するうち，**
敗戦・・・・1945＝40歳：北海道に疎開して**_終戦を迎えるが，その挑戦はさらに高くなり，**
新憲法公布・1946＝41歳：帰京。
新憲法施行・1947＝42歳：評論集「小説の問題」，小説集「微笑」，
極東裁判決・1948＝43歳：**_画期的な評論となる評論集「文学の道」，評論集「小説の方法」。**
朝鮮戦争始・1950**＝45歳：**評論集「我が文学生活」，長編「鳴海仙吉」。**_D.H.ロレンスの「チャタレー夫人の恋人」完訳版を訳して，押収され起訴された(チャタレー裁判)。**
独立回復・・1951＝46歳：評論集「性と文学」，
ﾒｰﾃﾞｰ事件・ 1952＝47歳：長編「裁判」。チャタレー裁判一審，二審。
TV放送始・・1953＝48歳：長編「花ひらく」と「火の鳥」。**＊「日本文壇史」第1巻刊行，以後も書き続け，**
自衛隊発足・1954＝49歳：**_エッセイ「女性に関する十二章」がベストセラー，伊藤整ブームになる。**
55年体制始・1955＝50歳：評論集「小説の認識」，
国連加盟・・1956＝51歳：長編「感傷夫人」と「若い詩人の肖像」，小説集「少年」，評論集「文芸読本」，
なべ底不況・1957＝52歳：評論集「芸術は何のためあるか」，長編「誘惑」。**_チャタレー最高裁判決で有罪確定。**
ｲﾝｽﾀﾝﾄﾗｰﾒﾝ・1958＝53歳：東京工業大学教授に就任。ペンクラブ委員会出席かねて，初のヨーロッパ・ソ連旅行。長編「氾濫」，
美智子妃・・1959**＝54歳：**帰国。長編「泉」，
安保闘争・・1960＝55歳：コロンビア大学の招きでニューヨークへ。
ｲﾀｲｲﾀｲ病始・1961＝56歳：帰国。母が死去。評論集「作家論」，旅行記「ヨーロッパの旅とアメリカの生活」。
全国総合計画1962＝57歳：長編「虹」，評論集「求道者と認識者」，
TV宇宙中継始1963＝58歳：**_「日本文壇史」により菊池寛賞。**
東京ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ 1964＝59歳：東京工業大学を退官。
大学紛争始・1965＝60歳：日本近代文学館長に就任。
いざなぎ景気1966＝61歳：ニューヨークでの国際ペンクラブ大会に出席，ヨーロッパを廻って帰国。
美濃部都知事1967＝62歳：**_小説・評論全般の業績に対し日本芸術院賞。**
霞ヶ関ﾋﾞﾙ・ 1968**＝63歳：**「変容」などの長編を世に送り，
全共闘ﾋﾟｰｸ・1969＝64歳：**＊「日本文壇史」全18巻の偉業を残して，胃癌のため，没した。**

新潮日本文学アルバム，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，